

大学運営・財務

【作成年度：2017年度実績】

(表9) 事業活動収支計算書関係比率・消費収支計算書関係比率 (法人全体)

	比率	算式(*100)①注2	算式(*100)②注2	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	備考
1	人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{帰属収入}}$	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	52.9	52.9	53.0	52.5	50.0	
2	人件費依存率	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	69.7	68.3	67.9	67.4	64.4	
3	教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{帰属収入}}$	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	29.1	29.2	27.5	28.2	28.5	
4	管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{帰属収入}}$	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	6.5	6.4	6.0	6.1	5.7	
5	借入金等利息比率	$\frac{\text{借入金等利息}}{\text{帰属収入}}$	$\frac{\text{借入金等利息}}{\text{経常収入}}$	0.2	0.1	0.1	0.1	0.0	
6	事業活動収支差額比率 (帰属収支差額比率)	$\frac{\text{帰属収入}-\text{消費支出}}{\text{帰属収入}}$	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	10.9	10.2	13.4	13.4	15.8	
7	事業活動収支比率 (消費支出比率)	$\frac{\text{消費支出}}{\text{帰属収入}}$	$\frac{\text{事業活動支出}}{\text{事業活動収入}}$	89.1	89.8	86.6	86.6	84.2	
8	基本金組入後収支比率 (消費収支比率)	$\frac{\text{消費支出}}{\text{消費収入}}$	$\frac{\text{事業活動支出}}{\text{事業活動収入}-\text{基本金組入額}}$	98.8	100.0	98.9	98.8	97.2	
9	学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{帰属収入}}$	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$	76.0	77.4	78.1	77.9	77.6	
10	寄付金比率	$\frac{\text{寄付金}}{\text{帰属収入}}$	$\frac{\text{寄付金}}{\text{事業活動収入}}$	0.9	0.7	0.7	0.8	0.7	
11	経常寄付金比率	—	$\frac{\text{教育活動収支の寄付金}}{\text{経常収入}}$	—	—	0.5	0.7	0.6	学校法人会計基準および当様式の変更に伴い、2015年度より算出。
12	補助金比率	$\frac{\text{補助金}}{\text{帰属収入}}$	$\frac{\text{補助金}}{\text{事業活動収入}}$	10.3	7.7	8.6	8.2	8.4	
13	経常補助金比率	—	$\frac{\text{教育活動収支の補助金}}{\text{経常収入}}$	—	—	8.4	7.6	7.9	学校法人会計基準および当様式の変更に伴い、2015年度より算出。
14	基本金組入率	$\frac{\text{基本金組入額}}{\text{帰属収入}}$	$\frac{\text{基本金組入額}}{\text{事業活動収入}}$	9.9	10.2	12.4	12.4	13.4	
15	減価償却額比率	$\frac{\text{減価償却費}}{\text{消費支出}}$	$\frac{\text{減価償却額}}{\text{経常支出}}$	9.7	9.0	9.0	8.6	8.3	
16	経常収支差額比率	—	$\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経常収入}}$	—	—	13.4	13.1	15.7	学校法人会計基準および当様式の変更に伴い、2015年度より算出。
17	教育活動収支差額比率	—	$\frac{\text{教育活動収支差額}}{\text{教育活動収入計}}$	—	—	8.6	8.3	10.7	学校法人会計基準および当様式の変更に伴い、2015年度より算出。

[注] 1 「学校法人会計基準」に基づく財務計算書類中の事業活動収支計算書・消費収支計算書(法人全体のもの)を用いて、表に示された算式により過去5年分の比率を記入してください。

2 2014(平成26)年度以前については、算式①を用いて、2015(平成27)年度以後については、算式②を用いて、比率を算出してください。

3 日本私立学校振興・共済事業団に提出している数値を記載してください。

【明治学院大学注記】

1 各比率は少数第2位まで計算し、少数第2位を四捨五入して少数第1位を表示している。